

	前々日	前日	当日 月 日		1日目	2日目	3日目~6日目	7日目	8日目		
	月 日	月 日	術前	術後	月 日	月 日	月 日~月 日	月 日~月 日	月 日		
目標	・術後、傷の痛みが落ち着き、抜糸が出来たら退院になります										
検査					・ 早期に採血をします ・ 午前中にCT、レントゲン写真を撮ります			・ 7日目に採血、CTの検査をします	・ 退院の予定です ・ 今後の検査は外来で予定されます		
治療処置	・ カラーの確認をします		・ 予定の時間になりましたら、トイレを済ませてお待ちください ・ 弾性ストッキングを履いて、手術室に向かいます	・ 翌朝まで酸素吸入を行いません ・ 翌朝まで点滴を行いません ・ 頸に大事な管が入ってきます(触れないようにしてください)	・ CT検査の結果、問題がなければ頸の管が抜けます ・ カラーをつけます ・ 抗生剤の点滴があります(術当日) ・ 抗生剤の点滴が朝と夕方にあります(術後1.2日目)		・ 術後3日目からは食事量で点滴の量を調整します ・ 術後3日目より内服が出来ます	・ 7日目に傷をみて抜糸をします ・ 医師の許可があれば、カラーをはずせます			
安静度	・ 制限はありません	→		・ 翌日CT検査が済むまで安静です(座れませんが、横を向く際は、看護師がお手伝いします)	・ CT検査の結果、問題がなければカラーをつけてベッド上で座ることが出来ます	・ 医師より許可があれば歩行できます(弾性ストッキングも脱げます)	・ 制限はありません				
食事	・ 制限はありません	・ 麻酔科医師から食事と水分の制限があります 食事()まで出来ます 飲水()まで出来ます			・ お昼より全粥食が出来ます		・ 術後3日目より普通食が出来ます 				
排泄	・ 制限はありません	→		・ 尿を出す為の管を入れます ・ 便がしたい時は看護師に声を掛けてください		・ 医師より許可があれば歩行してトイレまで行けます(尿を出す為の管は抜けます)	・ 制限はありません				
清潔	・ 制限はありません	・ 入浴して頂きます			・ 体を拭きます 		・ 必要時、体を拭くお手伝いをします	・ 医師の許可があれば洗髪・入浴などが出来ます			
観察	・ 入院までの経過をお聞きします(また、入院の状態を観察します) ・ 血圧・脈・体温など観察します			・ 手術直後30分、1時間後、2時間後、以後2時間毎に経過を観察します	・ 血圧・脈・体温等を1日4回測定します	・ 術後2日目から血圧・脈・体温等を1日3回測定します	・ 術後4日目からは血圧・脈・体温等を1日1回測定します	・ 1回行います			
その他	・ 医師、看護師より手術についての説明があります ・ 手術・輸血同意書、入院診療計画書等をお渡ししますので、署名の上お出しください	・ 麻酔科医の診察がありますので、できればご家族の方も同席をお願いします(ただし、休日の場合は別の日に診察します)	・ 身につけている物は全て外してください □入れ歯 □時計 □眼鏡 □コンタクトレンズ □ヘアピン □かつら □指輪 □ネックレス□貼り薬	・ 手術後は集中治療室に入室していただきます(状況によっては、病棟に戻っていただく事もあります)	・ 手術の翌日、問題なければ集中治療室から病棟に戻ります また、お体の状態によりお部屋が変わることがあります				・ 退院療養計画書をお渡ししますので、署名の上、お出しください ・ 次回受診日は 月 日です		
説明者											

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医()
担当看護師()

入院負担割合	3割	70歳以上(1割)	70歳以上(2割)	70歳以上(3割)
負担額	約600,000円	約80,000円	約80,000円	約300,000円

※入院費は概算ですので診療内容・病状・使用する材料等により異なる場合があります

※70歳未満の方は、「限度額認定適用認定証」の申請をお勧めします

2020.4.10☆

頸動脈剥離術を受けられた患者さんへ

手術お疲れ様でした。不安の強い治療であったと思います。

これからの退院後の生活の注意点について説明させていただきますので、参考になさってください。

以下の内容で不明な点は、医師、看護師、薬剤師などにご遠慮なくお尋ねください。

1、日常生活について

- ・医師より特別な注意をお聞きになっていなければ、普段の生活に戻っていただけます。
- ・動物性脂肪の取りすぎは、血液中のコレステロールを増やし、動脈硬化を進めるので控えめにしましょう。病院での食事を参考にしてください。

動物性脂肪とは・・・バター、チーズ、ラード、卵など
たんぱく質は・・・動物性：植物性を1対1にしましょう

- ・アルコールは避けましょう。
- ・糖尿病は動脈硬化を引き起こしやすく、血液がドロツとして流れが悪くなり、その他にも眼・神経・腎臓などの細かい血管の病気を引き起こします。バランスの良い食事や適度な運動をこころがけましょう。
- ・お薬を飲んでおられる方は飲み方を守って忘れずに飲みましょう。
お薬の飲み方を変えてしまうと効き目が十分出ないこともあります。
- ・次回受診日に関しましては、退院診療計画書に記載されております日時を確認ください。
- ・次回受診予定日の前であっても、体の調子がおかしいと感じた時は、予定日を待たずに受診しましょう。

